

予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細に行いました。その後、予算決算委員会の全体会において、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第44号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)



消防団力の向上に向けて

○消防団活動費／団員活動費 332万1,000円

【概要】 消防庁が実施する「消防団の力向上モデル事業」に提案した事業が採択され、消防庁から本市への委託事業として実施することが決定したため、事業計画に基づき必要な活動経費を計上するもの。

質疑 消防団の力向上モデル事業の詳細は。また応募した経緯は。

答弁 本市の消防団の充足率は、これまで95%以上を確保しているが、プロモーション動画の作成や生活情報誌への掲載、チラシ発行などを行い、消防団の魅力をさらに市民に発信し、消防団のかっこよさをPRするため、今回モデル事業に応募した。

企業版ふるさと納税を活用した維持修繕

○河川防災センター／維持修繕費 1,360万5,000円

【概要】 大規模災害時に現地活動拠点となる河川防災センターの老朽化した空調設備の改修に要する経費を計上するもの。

質疑 企業版ふるさと納税の寄附金を活用した河川防災センターの修繕は、この時期に修繕予定であったのか。

答弁 令和8年度の予算に計上すべく準備していたが、企業版ふるさと納税を受領できることとなり、修繕を前倒しで実施する。

地震解錠ボックスを新規に設置

○防災施設環境整備費／避難所等環境整備費 173万8,000円

【概要】 県の補助金制度の見直しに伴い、基幹収容避難所に設置する地震解錠ボックスの追加購入（4カ所分）に要する経費を増額計上するもの。

質疑 4台の地震解錠ボックスの設置場所は。

答弁 天名小学校、椿小学校、庄内小学校、合川小学校の4校を予定している。



地震解錠ボックス